

ユーカリの栽培技術習得と集出荷体制の見直しによる生産出荷体制の確立

湖東農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

ユーカリは土地利用型作物と作業競合が少ない品目であり、中山間地域や不整形田畑での栽培も可能であることから、当センターでは令和 4 年度からユーカリ栽培を推進しています。

令和 5 年度から関西花き卸売市場へ出荷を開始しましたが、出荷先での萎れの発生、規格の不揃い、市場へのお荷情報の提供の遅れ等から十分な評価が得られず、1 本あたりの単価(60 cm以上の規格)が 25.4 円と低迷しました。

そこで、JA 東びわこと連携し、ユーカリの栽培管理技術の習得や集出荷体制の見直しによる生産体制の確立に向けた支援を行いました。

【普及活動の内容】

生産者の収穫・調製技術の向上を図るため、市場担当者と出荷規格や出荷時期の協議を行いました。また、同じ市場にユーカリを出荷している先進地(JA こうか)を視察するとともに、10 月には収穫出荷研修会を開催し、収穫・調製の方法を説明しました。併せて、生産者のほ場を巡回し、適期収穫をまとめた出荷・調製マニュアルを配布しました。昨年度の反省や市場の意見をもとに、生産者に対し、出荷見込数量を JA に報告するとともに、JA から市場に対し出荷量や規格等について迅速な情報提供を行うよう指導しました。



写真1 収穫・調製方法研修会

【普及活動の成果】

上記の活動により、11 月、12 月の市場出荷の 1 本あたりの平均単価は、42.3 円と、令和 5 年度から 67%上昇しました。また、令和 6 年度末までの出荷見込本数は約 15,000 本となり、前年度の 8,250 本から大幅に増加しました。湖東管内ではユーカリの生産者が毎年増えているため、さらなる生産拡大や品質向上に向け支援していきます。

◎対象者の意見

こまめな情報発信や指導をいただいた結果、市場の単価は上昇しました。ありがとうございました。(生産者)